

2021年3月31日

各 位

会社名 株式会社西武ホールディングス
代表者 取締役社長 後藤高志
(コード番号：9024 東証一部)
問合せ先 広報部長 川上清人
(TEL. 03-6709-3112)

西武グループ サステナビリティアクション
サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について
～陸運業界初 CO₂排出削減と借入れ条件を連携～

当社は、三井住友信託銀行株式会社（取締役社長：橋本 勝）との間で、陸運業界では初となる、ローン・マーケット・アソシエーション（以下「LMA」^(※1)）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した「サステナビリティ・リンク・ローン（以下「SLL」）」による融資契約（以下「本件」）を締結しましたのでお知らせいたします。

SLLは、借り手の経営戦略に基づくサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下「SPTs」）を設定し、借入れ条件とSPTsのパフォーマンスを連携させることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動や成長を促進することを目指すものです。

本件では、SPTsに当社グループの環境負荷削減目標（CO₂排出量削減目標）を設定いたしました。

SPTs＝環境負荷削減目標（CO₂排出量削減目標）

CO₂排出量原単位（営業収益当たりCO₂排出量）を、2030年度までに2018年度比25%削減

当社グループでは、グループの経営理念である「グループビジョン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを「サステナビリティアクション」^(※2)と呼び積極的に推進しております。また、特に環境に関する方針として「西武グループ環境方針」を策定し取り組みを進めているほか、サステナビリティアクションのアジェンダ（重要テーマ）の一つとして「温室効果ガス削減」を掲げ、社会的な課題となっているCO₂排出量について、削減目標を設定し、省エネルギー設備や車両の積極的導入、運用方法の工夫に加え、再生可能エネルギーの活用などを通じて、気候変動の緩和に取り組んでいます。

当社グループでは、これまでもCO₂排出量削減に積極的に取り組んでおり、2018年度には、2013年度比19.5%削減いたしました（西武グループ各社において改正省エネルギー法に基づき報告を行った数値を基に算出）。今後も引き続きCO₂排出量削減に取り組み、更なる地球温暖化防止への貢献に向けて、CO₂排出量原単位を2030年度までに2018年度比25%削減する目標を設定しております。今回SPTsにCO₂排出量削減目標を設定することで、今まで以上にスピード感をもって目標達成に向け取り組んでまいります。

・本件の概要




















実行日	2021年3月31日
期間	9年間
金額	50億円
資金使途	事業資金

なお、本件は株式会社日本格付研究所より SLL 原則への準拠性、設定した SPTs の合理性について第三者意見 (※3) を取得しています。

当社グループでは今後も「サステナビリティアクション」を積極的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(※1) LMA は欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60 カ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2) 西武グループ サステナビリティアクション アジェンダ
SDGs への貢献を意識し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして実施しています。以下4領域 12 項目のアジェンダ設定、持続的、積極的かつ体系的に取り組みを進めています。

領域	アジェンダ	貢献するSDGs
安全	安全安心	   
環境	温室効果ガス削減	     
	廃棄物削減	
	水資源の確保	
	森林や生物保護	
社会	沿線・周辺自治体活性化	   
	ユニバーサルデザイン対応	
	少子高齢化	
会社文化	働き方改革	    
	多様な人材雇用	
	従業員教育・管理	
	コンプライアンス	

サステナビリティアクションの詳細（具体的取り組み等）については西武ホールディングス Web サイトをご覧ください。

- ・サステナビリティアクション全般

<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/>

- ・環境に関する取り組み（環境方針および CO₂ 排出量等環境データ含む）

<https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/environment/>

(※3) 株式会社日本格付研究所の Web サイトをご参照下さい。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上

【ご参考】

次ページ以降で西武グループ各社の CO₂ 排出量削減に向けた取り組みを紹介しています

CO₂ 排出量削減に向けた西武グループ各社の 主な取り組みのご紹介

西武グループでは従前より温暖化の一因となっている CO₂ の排出削減に積極的に取り組んでおります。今後も引き続き CO₂ 排出量削減に取り組み、更なる地球温暖化防止への貢献に向けて、環境負荷削減目標を設定しております。(詳細については <https://www.seibuholdings.co.jp/sustainability/environment/>)

西武グループの環境負荷削減目標

CO₂ 排出量原単位 **2030 年度までに 2018 年度比 25%削減**

①自然エネルギーの活用（太陽光発電・水力発電・地熱活用）

グループ各社では、太陽光発電をはじめとした自然エネルギーを活用したエネルギー供給や冷暖房設備に地熱を活用することによる使用エネルギーの低減を図るほか、西武建設などでは、小水力発電・マイクロ水力発電・バイオマス発電の研究を進めることで温室効果ガスの発生を抑制する取り組みを進めております。

✓ 西武鉄道、プリンスホテル、近江鉄道

- ・太陽光発電を全国 9 か所で実施し、**年間約 2,200 万 kwh を発電**

✓ 西武鉄道 山口線（愛称：レオライナー）

- ・2021 年 4 月 1 日より、使用する電気の全てを、自社で運営する「西武武山ソーラーパワーステーション」が発電する環境価値が付いた電力で賄うことで、実質 CO₂ 排出ゼロで運行。

年間 CO₂ 削減量：約 300t

✓ プリンスホテル

- ・軽井沢にて水力発電を運用。**年間 148 万 kwh を発電**
- ・箱根湯の花プリンスホテル・万座プリンスホテルにて地熱活用による冷暖房設備を運用

年間 CO₂ 削減量：約 2,470t



西武武山ソーラーパワーステーション



※「FIT 非化石証書付電力」契約とは…特定の発電所と電力需給先を紐づけるための契約
※環境価値付電力とは…再生可能エネルギーなど CO₂ フリー発電の価値が付加された電力

レオライナーの運行を 100% 自然エネルギーで賄う

②温室効果ガスの削減

グループ各社の輸送サービスでは、環境負荷の少ない輸送手段の更なる効率化を目指し、省エネ車両やエネルギーを有効活用できる駅設備などの導入や電車・バス・タクシーの運転技術研究等を引き続き行うことで、使用エネルギーの低減に努めています。

✓ 西武鉄道

- 最新技術のモーターを搭載し、省エネ化した新型特急車両「Laview」、新型通勤車両 40000 系車両を導入
電力使用量 従来比 40%削減
- 電車のブレーキ時に発生する回生電力を蓄電する回生電力貯蔵装置・駅舎補助電源装置の設置
- 駅照明等の LED 化

✓ 西武バス、伊豆箱根バス、伊豆箱根タクシーグループ、近江鉄道、近江タクシー

- ハイブリッドバス、ハイブリッドタクシーの導入

✓ 西武バス

- 2020 年 9 月より、東京都・埼玉県内の路線バスで初めて、CO₂ 排出量が少ない「ユーグレナバイオディーゼル燃料」を使用した車両を一部路線で運行開始
- 2020 年 12 月より、水素を燃料とし、走行時には二酸化炭素などの環境負荷物質を排出しない**燃料電池バスの運行を開始**



新型特急車両「LaviView」(右)
新型通勤車両 40000 系車両 (左)



電車のブレーキ時に発生する回生電力を蓄電



「ユーグレナバイオディーゼル」バス



燃料電池バス

③設備の省エネ化

グループ各社では、新設オフィスビルの省エネ化をはじめ、高効率熱源機器の導入や照明のLED化の推進等、各設備の省エネ化を進めています。

✓ プリンスホテル

- ・LED照明機器の積極導入：全ホテル、スキー場、ゴルフ場にて照明機器のLED化を推進
- ・高効率熱源機器の導入：ヒートポンプを活用した高効率熱源機器の導入を推進
- ・電気自動車、電気カートの導入：ゴルフカートを中心とした電動化の推進
- ・ペレットストーブの導入：木くずなどの製材副産物を圧縮した固形燃料を使ったストーブの導入



品川プリンスホテル



送迎用電動カート

✓ 西武プロパティーズ

【東京ガーデンテラス紀尾井町】

- ・コージェネレーションシステム（CGS）やビル管理エネルギーシステム（BEMS）等を導入、運用。

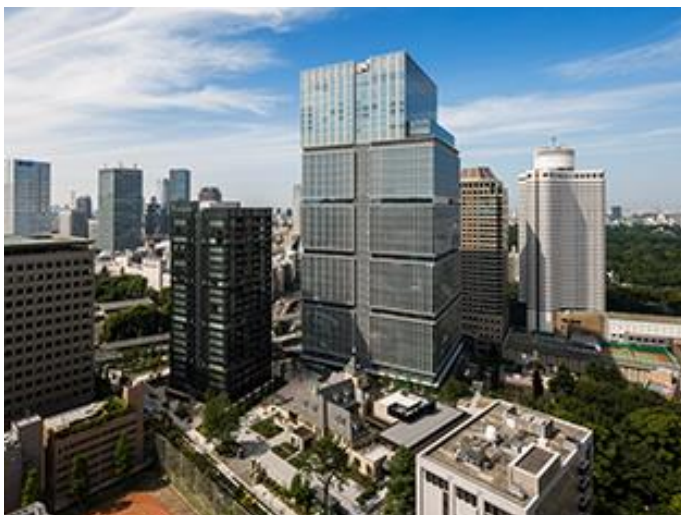
2019年度実績：CO₂年間削減義務率 8%に対し約 30%削減

※2021年3月 東京都環境確保条例「トップレベル事業所（優良特定地球温暖化対策事業所）」に認定

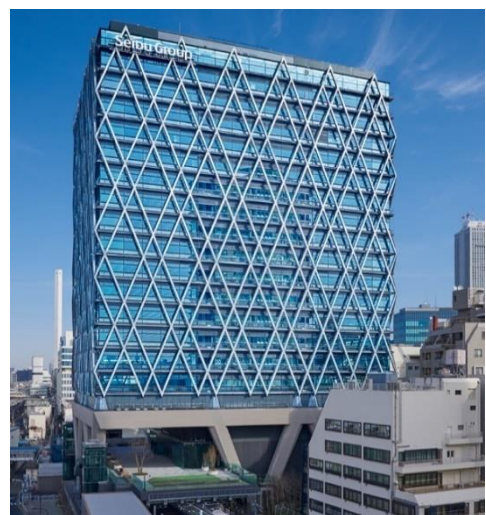
【ダイヤゲート池袋】

- ・「排気利用型ウォールスルー併用空調システム」の導入、「VAV（Variable Air Volume：可変風量制御装置）」によるきめ細かな温度調整の実現による、建築計画と調和した効率的な電力使用による省エネルギー化（**同規模ビルの基準値に対し約 50%削減**）

※2021年3月 空気調和・衛生工学会賞「技術賞」を受賞



東京ガーデンテラス紀尾井町



ダイヤゲート池袋

④廃棄物削減

プリンスホテルでは、食品廃棄物の削減・処理・リサイクルを進めるほか、グループ各社ではオフィス等からの廃棄物を削減するため、ICTを利活用しペーパーレス化を推進するほか、ゴミ分別の徹底や排出量管理を行う等さまざまな取り組みを進めております。

✓ プリンスホテル

- ・購入ロットの見直し、食べ残し防止ポスター掲出などによる啓発
- ・料理のスモールポーション化などによる食品ロスの削減
- ・食品廃棄物の乾燥による減量および肥料への再利用



食べ残し防止ポスター

⑤緑を守る活動・緑を増やす活動

グループ各社では、保有資産に自生する樹木の保護に加え、周辺自治体等との連携により緑を守る活動・増やす活動を行っています。

✓ 西武鉄道 飯能・西武の森

- ・面積 130ha の森林を行政・市民団体などとともに保全（2017 年に（財）都市緑化機構が実施する SEGES（社会・環境貢献緑地評価システム）において最高位「Superlative Stage」認定）

✓ 西武造園

- ・造園工事業における緑地空間の創出（**年間 3 万本以上の高木、25 万本以上の低木、50 万株以上の地被類の植栽、年間 3 万㎡以上の芝生広場の施工**）<https://www.seibu-la.co.jp/works/>（西武造園施工事例）



宮下公園（西武造園施工事例）



飯能・西武の森

他、詳細の取り組みについては下記からご覧いただけます。

西武鉄道 <https://www.seiburailway.jp/company/eco/for-the-future-of-the-earth/index.html>

プリンスホテル <https://www.princehotels.co.jp/kankyo/>

西武プロパティーズ <https://www.seibupros.jp/corporate/sustainability/>

埼玉西武ライオンズ <https://www.seibulions.jp/lfriends/environment/>

伊豆箱根鉄道 <http://www.izuhakone.co.jp/corporate/csr/index.html/>

近江鉄道 <http://www.ohmitetudo.co.jp/corporate/environmentcommunity/environment/index.html/>

西武造園 <https://www.seibu-la.co.jp/sdgs.html>